

事業所名 グループホーム町屋
運 営 推 進 会 議 開 催 報 告 書

開催日時 2021年 10月 25日(月)		
参 加 者 (意見照会)	議 題	
利用者 0名	①	行事報告
利用者家族 1名	②	行事予定
地域住民の代表者 0名	③	意見照会
市職員 1名	④	身体拘束適正化検討委員会
地域包括支援センター職員 1名	⑤	その他
事業所 0名		
会 議 録		
<p>2021年10月25日に行う予定でしたが、コロナウィルス感染拡大防止により開催を中止しました。今回開催分も意見照会にて行いますのでご協力をお願い致します。</p> <p>① 行事報告 1号館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月8日 今年度2回目の夜間想定避難訓練がありました。今回は、2時頃に地震が起き、西側のトイレ内のコンセントから出火したという想定で行いました。夜間想定ですので、利用者様には居室に入って頂き、職員1名で避難訓練を行いました。外まで避難する予定でしたが、あいにくの雨の為、利用者様には、玄関まで避難をして頂きました。避難時間ですが、7分51秒にて、全利用者様が避難出来ました。 ・9月13日 おやつ時に誕生日会(2名)を行いました。ケーキをお召し上がり頂きながら、皆さんでお祝いをさせて頂きました。誕生日の方も、とても楽しそうなお様子でした。 ・9月17日 敬老会を行いました。昼食は木曾路のすき焼き重弁当をお召し上がり頂きました。おやつには、カステラ、羊羹をお召し上がり頂きました。また、敬老のお祝い、日頃の感謝を込めまして、職員から色紙をプレゼントさせて頂きました。 ・10月8日 秋の味覚祭を昼食時に行いました。食事メニューは、栗きのこと飯、さんまの塩焼き、秋鮭のホイル焼きをご用意させて頂きました。皆様、美味しそうにお召し上がり頂きました。 ・10月11日 おやつ時に誕生日会を行いました。ケーキをお召し上がり頂きながら、皆さんでお祝いをさせて頂きました。誕生日の方も、とても喜んで頂きました。 		

2号館

・9月9日 今年度2回目の夜間想定避難訓練がありました。今回は、2時頃に地震が起き、南側のトイレ内のコンセントから出火したという想定で行いました。夜間想定ですので、利用者様には居室に入って頂き、職員1名で避難訓練を行いました。利用者様には、東屋まで避難して頂きました。避難時間ですが、13分52秒にて、全利用者様が避難出来ました。

・9月17日 敬老会を行いました。昼食は木曾路のすきやき重弁当を美味しくお召し上がり頂きました。おやつには、カステラ、羊羹をお召し上がり頂きました。また、敬老のお祝い、日頃の感謝を込めまして、職員から色紙をプレゼントさせて頂きました。

・9月18日 おやつ時に誕生日会を行いました。ケーキをお召し上がり頂きながら、皆さんでお祝いをさせて頂き、楽しい時間をお過ごし頂きました。

・10月8日 秋の味覚祭を昼食時に行いました。食事メニューは、栗きのこご飯、さんまの塩焼き、秋鮭のホイル焼きをご用意させて頂きました。皆様、美味しくお召し上がり頂きました。

② 行事予定

1号館・2号館

11月 おでん

12月 誕生日会

クリスマス会

③ 意見照会

★ご家族様 緊急事態宣言が解除され面会も少し安心して行ける様になり嬉しく思います。外出できないのが残念ですが、外出できる日が来ることを待っています。面会時、職員の方の笑顔が励みになります。これからも、宜しくお願い致します。

ご意見ありがとうございます。面会、外出に関してですが、10月22日付にてご家族様にご案内を郵送させて頂きましたので、そちらに記載されている対応にて宜しくお願い致します。今後も、流行に依りての変更があるかも知れませんがご協力の程、宜しくお願い致します。これからも、笑顔を絶やさずに毎日のケアに取り組んでいきますので、今後とも、宜しくお願い致します。

★市職員様 9月に、1号館・2号館ともに避難訓練が実施されていますが、各々反省点や検討課題、どんな内容でしたか。また、今回は、夜間想定避難訓練を実施されたとのことですが、グループホームの夜間帯は、1号館・2号館ともに職員1名の体制になると思います。それを踏まえて、避難訓練へ地域住民に参加して頂いたり、他に地域住民と何か連携を図っていますか。

ご意見ありがとうございます。まずは、1、2号館とも、事故もなく安全に避難訓練が行えたのではないかと思います。課題点は、1・2号館とも、車いすをいかに上手く利用して速やかに行うかです。普段、手引き歩行の方などにも、車いすを上手く利用することで、速やか、安全に避難が出来ると思います。また、日中の避難訓練は職員同士の声掛けが必要で誘導を分担出来ますが、夜勤者1人の避難訓練では、最初から最後まで、安全に誘導を出来るかを考えて、すぐ実践する必要があります。定期的に避難訓練を行っていますが、実践をする中で、「こうした方が良いのではないか？」など、次に向けた気づきの場になればと思います。

次に、避難訓練への地域住民の参加は今年もありませんでした。

★地域包括支援センター様 コロナ禍の中でも感染症対策をとって頂きながらの行事の開催や利用者様へのきめ細やかなご支援ありがとうございます。今後とも、利用者様への安心・安全な生活をご支援ください。

ご意見ありがとうございました。今後も、第6波やオミクロン株の話題を連日ニュースで耳にします。この先、まだまだ不安ですが、その中でもしっかりと感染症対策を行っていきます。また、気分転換になりお楽しみいただける行事をこれからも計画をしていきます。

④ 身体拘束適正化検討委員会

・別紙参照

◆まとめ

今回は、「不穏・興奮、不眠、暴力」をテーマにさせて頂きました。

まず、不穏は認知症の中核症状のBPSDの一つにもあります。

不穏になり興奮すると、利用者様または、職員に対して攻撃的になり、手が出てしまう事もあります。グループホームは生活の場であり、共同生活の場所でもあります。他の方への、不穏などによる迷惑行為を防ぐために、ベッドなどに体幹や四肢をひも等で縛る。自分の意思で開けることのできない居室等に隔離する。また、行動を落ち着かせるために、向精神薬を過剰に服用させる。いずれも、身体拘束に当たります。

身体拘束をしない、町屋でのケアの仕方や取り組み方は、不穏などによる迷惑行為そのものを問題として考えるのではなく、原因や目的を考え、それを取り除ける様にまずは考えます。考え方として、本人の状況や、生活のリズムを把握します。不穏になるストレスはなかったか？職員が係る時間を増やし、落ち着ける環境を整える事で、不安症状を解消出来ればと思います。

また、向精神薬の取り扱いに関してですが、町屋でも気持ちを落ち着かせる程度の向精神薬を使用することがあります。不穏などの迷惑行為に対して、最

初から向精神薬を使用する事はありません。あくまでも、上記の対応をしっかり行った上で改善が出来ず、余りにも他者への影響がある場合などに、主治医と相談して使用します。内服開始後も、状態の変化に注意し、向精神薬の副作用と思われる傾眠が強くなる。歩行にふらつきが出る。活気が余りにもなくなり、ぐったりしているなどの症状がある場合、すぐに主治医に報告をし、内服を中止しています。

また、不眠に関する対応は、夜間不眠が続くと、昼間に寝てしまい、昼夜逆転が起こります。夜間、不眠にならない様に、日中に活動的に動いてもらい、夜ゆっくり休んで頂けるように、生活リズムを整えられたらと思います。

⑤ その他

9月2週目、4週目に愛知県の要請により、職員対象のPCR検査を行いました。全員陰性でしたのでご報告をさせていただきます。